



きんもくせい

鹿島市立古枝小学校
学校だより No. 9
令和8年8月27日
校長 橋本 憲彦

学校教育目標 かがやけ！古枝スピリッツ～「やる気・優しさ・元気」いっぱい～

前期後半がスタートしました

夏休みが終わり、8月25日（火）から前期後半がスタートしました。学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻り、活気あふれる毎日が始まっています。夏休み期間中は、大きな事故やけがもなく、子どもたちが元気に過ごすことができたことを何よりも嬉しく思っています。これも、保護者の皆様や地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげと、心より感謝申し上げます。前期後半も子どもたち一人一人が目標をもち、様々な活動に意欲的に取り組みながら、充実した学校生活を送ることができるよう、職員一同、全力で支援してまいります。今後とも、学校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

夏となかよし（1年生）

1年生は、生活科「夏となかよし」の学習で、7月8日（水）に中庭で水遊びを楽しみました。水風船などを使い、水の冷たさや気持ちよさを感じたりしながら、夏ならではの遊びを満喫しました。歓声があちこちから聞こえ、子どもたちは笑顔いっぱいで活動していました。水の感触や涼しさを体いっぱいで感じながら、友達と仲よく遊ぶ楽しさを味わうことができました。これからも季節の特徴を生かした体験活動を通して、自然や季節に親しむ心を育てていきます。



海苔について学習しました（4年生）



4年生は、7月13日（月）に県有明海漁業協同組合鹿島市支所の皆様を講師としてお招きし、有明海の特産品である「海苔」について学習しました。まず、有明海に生息する様々な生き物について教えていただき、豊かな自然環境や生態系について理解を深めました。

次に、海苔の種付けから収穫までの様子を動画で視聴し、海苔づくりには多くの人の努力や工夫があることを学びました。最後は、体育館で「むっかけ体験（ムツゴロウを針で引っ掛けて捕獲する伝統漁法）」に挑戦しました。子どもたちは、実



際の漁法を体験することで、その難しさや面白さを感じながら、楽しく活動することができました。また、県有明海漁業協同組合鹿島市支所の皆様から全校児童に海苔をいただきました。ありがとうございました。

上古枝面浮立保存会の方々との交流（３年生）

３年生は、７月１４日（火）に上古枝面浮立保存会の皆様との交流会を行いました。上古枝面浮立保存会の皆様は、古枝地区に伝わる伝統芸能「面浮立」の保存・継承に取り組まれています。はじめに面浮立の歴史や由来について分かりやすく教えていただきました。その後、鬼の面をかぶり、笛の囃子に合わせて勇壮な面浮立を披露していただきました。子どもたちは、迫力ある力強い舞に引き込まれ、熱心に見入っていました。最後は、実際に面をかぶらせてもらったり、太鼓をたたかせてもらっ



たりする貴重な体験もさせていただきました。子どもたちは、ふるさとの伝統文化に直接触れることで、面浮立への理解を深めるとともに、その魅力を改めて感じることができました。

高校生ティーチャーによる「宿題サポート教室」

７月２３日（木）、２４日（金）の２日間、希望者を対象に鹿島高校生による「宿題サポート教室」がありました。２日間で本校児童のべ１９名が参加し、のべ２０名の高校生が学習支援に来てくれました。分からないところは、高校生が丁寧に分かりやすく教えてくれることで、子どもたちは安心して学習に取り組むことができていました。また、高校生との温かな交流を通して、学ぶことの楽しさや人と関わることの大切さを感じる貴重な機会にもなりました。



９月の主な行事予定

※ 詳細につきましては、古枝小のホームページにてご確認ください。

３日（木）	第３回ＰＴＡ本部役員会・評議員会
８日（火）	授業参観（フリー参観）、１年生食育授業・給食試食会、２年学年行事
１７日（木）	６年生修学旅行（長崎市）１８日まで あいさつ運動（４年生）
２４日（木）	集団下校、見守り隊・サポート隊